

I - B - 8

肝機能障害に対する冬虫夏草の効果

東急クリニック¹⁾, 中日友好病院²⁾, 至聖病院³⁾

○加藤一彦¹⁾, 剛 勇²⁾, 堀江良彰³⁾

【目 的】中国の馬軍団によって、冬虫夏草が一般にまで知られるようになったが、その効果についての報告はほとんどされていない。冬虫夏草はコウモリガの幼虫に寄生したフユムシナツクサタケと寄生主の乾燥体であり、滋養強壮作用をもつといわれている。今回、中国保定製薬にて精製培養された冬虫夏草（心肝宝®）を用い肝機能障害患者に投与し、その効果について血液生化学に検討評価し報告する。

【対象および方法】対象はA, B, Cウイルス肝炎に罹患していずAST, ALTの上昇を来している男性5名（平均年齢 43.4 ± 8.4 ）。うち2名は高血圧の既往があり、1名は内服治療中。他は既往歴、家族歴に特記すべきことなし。また、全員投与開始時から投与中も自覚症状なく、その他の疾患等も認めていない。この5名に冬虫夏草原末を1回750mg一日3回宛内服してもらい投与後1～2ヶ月後に採血し前値と比較した。統計学的検討はStudentのt検討を用いた。なお、冬虫夏草について事前に財団法人日本食品分析センターにて分析し安全性を確認した。

【結 果】

	正常値	症例1	症例2	症例3	症例4	症例5	平均値±標準偏差
AST 前値	5～40	96	38	42	85	80	68.2 ± 23.6
後値		23	38	29	42	39	34.2 ± 7.1
ALT 前値	5～45	96	48	71	132	98	89.0 ± 28.2
後値		47	37	43	71	39	47.4 ± 12.3

全般にAST, ALTともに改善しており、5症例の平均値ではAST, ALTともに統計学的に有意に改善をしていた（ $p < 0.05$ ）。

【考察と結論】冬虫夏草の成分分析では、タンパク質が39.8%と多く、つぎに糖質27.4%であり、煎じ薬ではなく、培養された菌体の直接の内服にて肝機能の改善が認められた。使用した結果からは、これまでいわれてきたよりもより速やかに効果が得られた。また、睡眠も熟睡できたとの反応もあり、肝機能障害により派生する他の症状に対しても有効と思われた。冬虫夏草は肝機能障害に対し有効な生薬と思われる。